

「サステナブル・ラベル認証講座」

～ SDGs と持続可能な調達、認証をどう選択するか～導入編

持続可能な調達と、サプライチェーンにおける環境社会的配慮がますます必要となる現在、その解決手段の一つとして認証の活用が挙げられ、エシカル消費の手段としてもサステナブル・ラベル（認証ラベル）が注目され始めています。

日本サステナブル・ラベル協会では、世界の現状や課題、日本で広がりつつある手法や認証制度について、内容を整理し、それぞれの認証の特長や視点を掘り下げる連続講座を行うこととなりました。理解を深めることで、環境社会的配慮を深めつつ、持続可能な資源利用と認証を活用したビジネスのあり方について考察出来れば幸いです。

まずは概論から入り、その後それぞれの認証について個別の講座を設ける予定です。

■開催日時：4月22日（水）14:00～16:45（ログイン可能開始時間 13:45～）

■開催場所：ウェビナー（Zoomを使用）

※参加用のURLは、お申込みいただいた方にお送りさせていただきます。

■主催：一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会（JSL）

■共催：公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（WWF ジャパン）

株式会社シーフードレガシー

■定員：80名（先着順） ※定員を超えた場合は、キャンセル待ちでの受付となります。

■申込〆切：4月21日（火）正午（12:00）まで

■参加費：無料

■対象者：どなたでも

■申込方法：専用フォームよりお申込み下さい。 <https://ssl.form-mailer.jp/fms/6494d09f659733>

★：今後もシリーズ化していく予定です。

水産編（3, 4時限目）5月末～6月予定

パーム編（5, 6時限目）5月末～6月予定



内容

1. 開会あいさつ

2. (1時限目) 地球環境の現状と、認証制度とは？

講演①:「地球環境の現状と私たちの暮らし」(WWF ジャパン 前川 聡)

講演②:「認証の基本的仕組みと選ぶ視点、SDGs との関係」(JSL 山口 真奈美)

3. (2時限目)「SDGs と持続可能な調達、認証をどう選択するか～」パネルディスカッション

梶島 裕美枝 (イオン株式会社)、前川 聡、南 明紀子 (WWF ジャパン)、山内 愛子 (シーフードレガシー)

ファシリテーター: 山口 真奈美

4.Q&A タイム (登壇者全員)

5. 閉会あいさつ

※新型コロナ対策のため、プログラム2、3については事前に録画した動画を流す可能性があります。ご了承ください。

登壇者プロフィール



梶島 裕美枝 (かわしま ゆみえ)

イオン株式会社 環境・社会貢献部 マネージャー、イオン持続可能な調達委員会事務局

2007年に、イオン(株)グリーンアイ商品部の規格・基準マネージャーとして着任以降、社内外で食品安全と環境保全の仕事に長年携わる。2017年より現職。持続可能な調達、消費の推進のため、エコラベルを積極的に活用。MSCステイクホルダー・カウンスルメンバーやRSPOオルタネイト・ボードメンバーなど、信頼のおけるエコラベル認証の普及の為、社外の活動も多岐にわたる。



前川 聡 (まえかわ さとし)

WWF ジャパン自然保護室海洋水産グループ長

渡り性水鳥の全国調査および国際保全プログラムのコーディネーター業務、WWF サンゴ礁保護研究センター(沖縄県石垣島)での住民参加型の環境調査および普及啓発業務、海洋保護区の設定および管理状況の評価業務等に従事後、2011年より東日本大震災復興支援プロジェクトと水産エコラベルの普及および取得支援に携わる。



南明 紀子 (みなみ あきこ)

WWF ジャパン自然保護室森林グループ プロジェクトマネージャー

2013年にWWF ジャパン入局。インドネシアやマレーシアにおける森林減少の原因ともなるアブラヤシ農園開発に関わる問題において、持続可能なパーム油の利用を推進するため、企業によるパーム油調達時の森林生態系・社会配慮の普及を担当。各国のWWFとも協力しながら、現地情報の提供や日本国内におけるRSPOの推進、パーム油の調達方針策定・運用支援などを行っている。



山内 愛子 Ph.D. (やまうち あいこ)

シーフードレガシー

日本の沿岸漁業における資源管理型漁業や共同経営事例などを研究した後、WWF ジャパン自然保護室に水産オフィサーとして入局。持続可能な漁業・水産物の推進をテーマに国内外の行政機関や研究者、企業関係者といったステークホルダーと協働のもと水産資源および海洋保全活動を展開。WWF ジャパンによるチリ、インドネシア、中国での現地オフィスとの海洋保全連携プロジェクトも担当したのち、2019年にシーフードレガシーに入社。漁業科学部、企画営業部の戦略策定と実施を担当。国内NGO等の連携である「IUU 漁業対策フォーラム」のコーディネーターを務める。



山口 真奈美 (やまぐち まなみ)

一般社団法人日本サステナブル・ラベル協会 代表理事/株式会社 FEM 代表取締役

地球環境保全と国際認証の研究の傍ら、環境教育やCSRに関する活動に従事。研究所勤務などを経て2003年FEM設立。2006年より認証機関Control Union日本法人立上げ及び代表も務めた。2017年日本サステナブル・ラベル協会設立、持続可能な信頼性のある国際基準を軸に、多岐にわたる認証を支援。持続可能な責任ある調達や環境社会的配慮、エシカル消費と生物多様性、CSR、国際認証等を専門とし、コンサルティング・アドバイザーや教育研修の他、エシカル&サステナブルな社会への変革を目指し、日本エシカル推進協議会副会長等、様々な活動も兼任。



JAPAN
SUSTAINABLE LABELS
ASSOCIATION